

自主学習会

古代の東国探訪学習会

(毎月第3木曜 13時30分～)
「東国(主に関東)」の古代史を研究する学習会です。ヤマト王権が全国統一する以前の東国の古代史を地元目線で掘り起こし、学習した文献、学説や自説などを持ち寄って発表、討論しています。史跡探訪や懇親会も実施し、約6年になりました。

旅と街道 IV

(毎月第4水曜 13時30分～)
古くからの日本の街道を学習しています。江戸時代、房総の各街道がどのような役割を果たしていたかを、班別に調べ、結果を発表しあいます。また、たまには現地を歩いて当時の旅に思いを馳せるようなこともやっています。東海道、成田街道、下総鮮魚街道に続く第4弾が始まります。



常設展示物学習会

(毎月第4木曜 13時30分～)
歴史好きな私たちにとって展示室内は歴史ロマンの詰まった宝庫です。展示物の関連資料を読み解きながら情報交換をし、日本の歴史(生活史)を学習しています。そして学習したことを展示室で確認し、知り得たことは共有している楽しい学習会です。

中級古文書学習会

(毎月第4金曜 13時30分～)
古文書を解説し、その時代背景を考え、内容を発表しています。堀田家の「町在御仕置留」(刑罰の判決書)を学習中です。最後の明治3年あたりになり、混乱した世相、制度変更等で、刑罰も江戸時代から明治へのそれと変遷していきます。塚本学歴博名誉教授に助言を頂いています。

歴博友の会入会のご案内 —友の会会員の特典—

- ☑ 国立歴史民俗博物館及びくらしの植物苑に無料で入館(入苑)できます。
- ☑ 友の会が主催する見学会、講演会、講座等各種のイベントに随時参加できます。
- ☑ 歴博や友の会の情報を満載した友の会ニュース(隔月刊)が無料で送付されます。
- ☑ 普通会员には歴博編集の歴史系総合誌「歴博」(隔月刊)が無料で送付されます。
- ☑ 普通会员には入会時および更新時に、「歴博招待券」が3枚無料で送付されます。

会員の種類	年会費
新規普通会员	*8,000円
準会員	3,000円
家族会員(2人分)	5,000円

*2年目以降(継続普通会员)は年会費7,000円です。

問い合わせ：表記の一般財団法人 歴史民俗博物館振興会「友の会」係までお問い合わせください。

友の会ホームページでも詳細をご案内しています(検索画面から“歴博友の会”で検索できます)

国立歴史民俗博物館友の会

友の会とは、
わが国歴史・文化を総合的に研究・展示することを中心とし、国・地方・民間の協力により、国立歴史民俗博物館の発展の発展に貢献し、私たちの国の歴史の発展に貢献し、より多くの人々に歴史の魅力を伝えることを目的として、現在、全国各地から約100名の有志者が集まり、友の会活動に取り組んでいます。
友の会に入会して、歴博や友の会の情報を満載した友の会ニュース(隔月刊)が無料で送付されます。

友の会会員の特典

- 国立歴史民俗博物館・植物苑、くらしの植物苑に無料で入館(入苑)できます。
- 友の会が主催する見学会、講演会、講座等各種のイベントに随時参加できます。
- 歴博や友の会の情報を満載した友の会ニュース(隔月刊)が無料で送付されます。
- 普通会员には歴博編集の歴史系総合誌「歴博」(隔月刊)が無料で送付されます。
- 普通会员には入会時および更新時に、「歴博招待券」が3枚無料で送付されます。

会費による会員のための学習会
植物館初詣「埼玉県立博物館・歴史民俗博物館と連携センター」
開催(2013年1月15日)
開催時間: 10時～12時
開催場所: 植物館・歴史民俗博物館
参加費: 無料
申し込み: 12月15日(日)まで
申し込み先: 友の会事務局
申し込み方法: 友の会ホームページ
申し込み用紙: 友の会ホームページ

行事案内
友の会インフォ

- ・見学会
博物館初詣「埼玉県立博物館・水川神社」(1月15日)

国立歴史民俗博物館 友の会



(2012.10発行)

一般財団法人 歴史民俗博物館振興会
〒285-0017 千葉県佐倉市城内町117
国立歴史民俗博物館内
電話 043-486-8011
FAX 043-486-8008
http://www.rekishin.or.jp
E-Mail: tomonokai@rekishin.or.jp

自主学習会

友の会会員による自主学習会です。友の会会員ならどなたでも参加できます。興味のある学習会に参加しませんか。本格参加の前の見学もお受けしております。

近世史読書会

(毎月第1水曜 13時30分～)
当館の塚本名誉教授のご指導で、23年4月よりは、司馬遼太郎の「菜の花の沖」を教材として、会員が毎月かわるがわるそれぞれのテーマで報告をして、それを中心に討議しております。この江戸時代中期は、国内の産業も勃興し、海上交通も盛んになって興味ある時代です。

日本の民俗を訪ねる

(毎月第2水曜 13時30分～)
「じょうずはへたのてほんなり
へたはじょうずのてほん也」世阿弥
できる人もできない人も、ワイワイガヤガヤ民俗談話会、学ぶより愉しむの2時間半。前半は月毎のテーマにそっての語り合い、後半は民俗学入門「民俗学への招待」宮田登著の読み合わせ。



近現代史読書会

(毎月第3火曜 13時30分～)
近現代史の教材を用いて、月1回気軽に意見交換を楽しむ会です。2年前から岩波新書の「日本近現代史」10巻を教材に、幕末から昭和 戦後までに取り組み中。明治・大正・満州事変・日中戦争を経てアジア・太平洋戦争の時代へと進んでいきます。